

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
1	神奈川大学	地元商店街との連携	商店街主催の「六角橋ドッキリヤミ市場」への課外活動の協力及び学園祭(神大フェスタ)への出店	六角橋商店街	平成31年4月、令和元年5月、6月、7月、9月、10月	平成11年度
2	神奈川大学	地元商店街・学校・町内会との連携	学園祭(神大フェスタ)の地域密着企画への参加	六角橋商店街、近隣町内会、市内小学校	令和元年10月	平成11年度
3	神奈川大学	地元小学校、地区センター、地域ケアプラザでの演奏会	地元小学校、地区センター、地域ケアプラザより依頼を受け、管弦楽団が毎年演奏会を開催	白幡地区センター 六角橋地域ケアプラザ	令和元年6月、10月	平成15年度
4	神奈川大学	本学と高等学校の高大連携協定	高大連携協定に基づいた連携協力	全40校1センター 横浜市立東高等学校 横浜市立みなと総合高等学校 横浜市立横浜商業高等学校 横浜市立横浜総合高等学校 神奈川県立旭高等学校 神奈川県立磯子工業高等学校 神奈川県立荏田高等学校 神奈川県立神奈川工業高等学校 神奈川県立神奈川総合高等学校 神奈川県立金沢総合高等学校 神奈川県立岸根高等学校 神奈川県立藤が丘高等学校 神奈川県立港北高等学校 神奈川県立商工高等学校 神奈川県立城郷高等学校 神奈川県立新栄高等学校 神奈川県立鶴見高等学校 神奈川県立永谷高等学校 神奈川県立新羽高等学校 神奈川県立水取沢高等学校 神奈川県立保土ヶ谷高等学校 神奈川県立舞岡高等学校 神奈川県立横浜旭陵高等学校 神奈川県立横浜桜陽高等学校 神奈川県立横浜国際高等学校 神奈川県立横浜修徳館高等学校 神奈川県立横浜清陵高等学校 神奈川県立横浜南陵高等学校 神奈川県立横浜平沼高等学校 神奈川県立横浜明朋高等学校 神奈川県立横浜緑園高等学校 英理女子学院高等学校 神奈川大学附属高等学校 捜真女学校高等学部 東京横浜独逸学園 武相高等学校 横浜清風高等学校 横浜創学館高等学校 横浜中華学院 横浜隼人高等学校 神奈川県立総合教育センター	通年	平成15年度
5	神奈川大学	県立高校生学習活動コンソーシアム協議会	「高校生向け公開講座」を事業提供 「SCIENCE Laboratory」を事業提供	神奈川県教育局 指導部 高校教育課	複数月開催	平成28年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
6	神奈川大学	大学体験(高大連携事業)	学部学科説明、特別講義、在学生講演、キャンパスツアー等の実施	神奈川県立岸根高等学校 神奈川県立鶴見高等学校 神奈川県立新羽高等学校 神奈川県立氷取沢高等学校 横浜清風高等学校 横浜創学館高等学校 神奈川大学附属中等学校	複数月開催	平成23年度
7	神奈川大学	スポーツセンターの仕事体験(高大連携事業)	4日間のスポーツトレーナー業務の体験	神奈川県立新羽高等学校 武相高等学校 横浜創学館高等学校	令和元年8月	平成24年度
8	神奈川大学	図書館の仕事体験(高大連携事業)	2日間の司書業務の体験	横浜市立横浜商業高等学校 神奈川県立港北高等学校 武相高等学校 横浜清風高等学校 横浜創学館高等学校	令和元年8月	平成19年度
9	神奈川大学	SCIENCE Laboratory	物理学と生物学の実験体験	横浜市立都岡中学校 横浜国立大学教育学部付属横浜中学校 横浜雙葉学園高等学校	令和元年8月	平成20年度
10	神奈川大学	特別聴講学生の受入れ(高大連携事業)	14回の本学の授業聴講	神奈川県立横浜修悠館高等学校	通年	平成20年度
11	神奈川大学	出張講義講師派遣(高大連携事業)	本学専任教員による高等学校での模擬授業	横浜市立横浜商業高等学校 神奈川県立瀬谷高等学校 武相高等学校 神奈川大学附属中等学校	複数月開催	平成17年度
12	神奈川大学	中学生の職場体験	1日間のスポーツトレーナー業務または図書館司書業務の体験	横浜市立松本中学校 横浜市立六角橋中学校 神奈川学園中学校	複数月開催	平成23年度
13	神奈川大学	第14回高大連携協議会フォーラム(高大連携事業)	高大連携・高大接続に係るシンポジウムを開催 テーマ:「探求のプロセス」を考えるー探究活動の実践を通してー 共催・神奈川県立教育委員会、後援・横浜市教育委員会で開催しており、神奈川県立総合教育センターの研修講座のひとつとして位置づけ	横浜市教育委員会 神奈川県教育委員会 (学)桐蔭学園 桐蔭横浜大学 横浜市立横浜総合高等学校 神奈川県立市ヶ尾高等学校	令和元年8月	平成18年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
14	神奈川大学	よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会への加盟	横浜および周辺地域に活動拠点を置き、各種事業を通し国際協力、国際交流、多文化共生を推進	(特活)横浜NGOネットワーク (公財)横浜市国際交流協会 JICA横浜 横浜市国際局	通年	平成30年度
15	神奈川大学	よこはま国際フォーラム2020	主催構成団体のひとつとして運営を行い、本学からは3名の留学生を講演者として派遣	(特活)横浜NGOネットワーク (公財)横浜市国際交流協会 JICA横浜 横浜市国際局	令和2年2月	令和元年度
16	神奈川大学	みなと横浜ゆかた祭り2019 「夢×思い出 灯籠流し」	「みなと横浜ゆかた祭り」にて本学外国語学部の学生グループが企画立案をした灯籠流しを実施	みなと横浜ゆかた祭り2019実行委員会	令和元年8月	令和元年度
17	神奈川大学	次世代のライフプランニング教育推進事業 「神大ワーク&ライフデザイン教育プログラム」	文部科学省からの委託事業「次世代のライフプランニング教育推進事業として、「男女共同参画の視点による講座」および正課授業への展開、加えて男女共修による「共働き家庭へのインターン」を実施 インターンには、横浜市の協力のもと「よこはまグッドバランス賞」受賞企業協力の企画も含まれている	横浜市政策局男女共同参画推進課	通年	令和元年度
18	神奈川大学	まち×学生プロジェクト	①「神大マルシェ」 横浜キャンパスの地元地域住民との交流を図るため、本学学生ボランティア活動支援室が地域と連携して神奈川県産の旬の野菜のほか、地域食材を生かした弁当や菓子等を展示販売 ②「六神祭(ろくじんさい)」 横浜キャンパスの地元地域住民との交流を図るため、本学神奈川大学ボランティア活動支援室が地域と連携して交流会を開催 ③「認知症啓発オレンジプロジェクト」 横浜キャンパスの地元地域住民の認知症理解を図るため、六角橋地域ケアプラザ、六角橋商店街連立会等とボランティア部「Gloval☆Yen☆Leap」が連携して啓発キャンペーンを実施 ④「キャンドルナイト」 大学生と地域団体が牛乳パックを加工して制作したキャンドルフォルダー2,000個にあかりを灯す地域交流イベントを人間科学部のゼミが開催	六角橋地域ケアプラザ、六角橋自治連立会、六角橋商店街連立会、神奈川県神奈川区役所、神奈川県神奈川区社会福祉協議会ほか	①令和元年7月 ②令和元年8月 ③令和元年9月 ④令和元年12月	平成28年度
19	神奈川大学	生涯学習・エクステンション講座の実施	地域社会の防災まちづくりに貢献している市民防災の活動グループ「防災塾・だるま」との共同企画により、「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」を実施	防災塾・だるま	令和元年10月、11月	平成17年度
20	神奈川大学	大会運営への学生派遣	水泳部による横浜会場での大会運営補助	スペシャルオリンピックス日本・神奈川	令和元年10月	平成22年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
21	神奈川大学	横浜市教育委員会との連携	水泳部による市中学校保健体育科水泳実技研修会運営補助	横浜市教育委員会事務局	令和元年9月	令和元年度
22	神奈川大学	地元商店街との連携	男子サッカー部による地域祭り・地域盆踊りの運営手伝い 男子サッカー部による地元商店街の毎週月曜朝の清掃活動参加	中山商店街	平成31年4月 令和元年7、11月	平成18年度
23	神奈川大学	中学生ポジション別練習会	男子サッカー部による横浜市内の中学生チームは又は選手を対象としたサッカー教室の開催	(一社)神奈川県サッカー協会	令和元年12月	平成22年度
24	神奈川大学	大会運営への学生派遣	男子サッカー部による大会運営補助、審判等 (ビーチサッカー大会、キッズサッカー大会等)	(一社)横浜サッカー協会	令和元年7月、8月	平成18年度
25	神奈川大学	少年育成サッカー学校	男子サッカー部による近隣に住む小学生(1年～4年)を対象とした週一回の無料サッカー学校	中山近隣小学生	令和元年6月～12月	令和元年度
26	神奈川大学	大会運営への学生派遣	男子サッカー部による大会運営補助	スペシャルオリンピックス日本・神奈川事務局	令和元年9月	令和元年度
27	神奈川大学	企業との連携	男子サッカー部による企業・地域の子供たちへのサッカーイベントの開催・運営	日総ブレイン株式会社	令和元年10月	令和元年度
28	神奈川大学	中学校への指導者・学生の派遣	硬式野球部による野球教室	横浜市中立中学校(3～5校)	令和元年12月	平成24年度
29	神奈川大学	バスケットボール サマーキャンプ in 赤城	男子バスケットボール部によるバスケットボール教室	横浜市体育協会からの依頼事業 市内の小中学生	令和元年7月	平成24年度
30	神奈川大学	地元幼稚園、小学校への学生の派遣	陸上競技部によるランニング教室	横浜市南神大寺小学校他	複数月開催	平成22年度
31	神奈川大学	神奈川大学と横浜市神奈川区との連携 推進に関する協定	相互の信頼関係に基づき、密接に連携・協力することによって、教員の養成及びその資質・能力の向上に努め、学校教育上の諸課題への対応を図り、もって横浜市の教育の充実・発展に寄与することを目的とする	横浜市教育委員会	通年	—

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
32	神奈川大学	授業支援等のボランティア	教職課程を履修している学生(2~4年次生)が、横浜市内の小・中学校においてAT(アシスタント・ティーチャー)、別室登校学習支援・特別支援サポート・部活動の指導補助、宿泊行事の補助、外国籍児童・生徒のサポート等のボランティア活動を実施。地域の教育への貢献、学生の学びの場の拡大を目的とする	横浜市内の小・中学校	通年	平成11年度
33	神奈川大学	KMプロジェクト	2005年度から松本中学校が本学との連携を謳ってすすめてきた「バイオニアスクールよこはま」(事業主:横浜市教育委員会)の事業において、教職課程を履修している学生が、神奈川大学キャンパスツアー等の取組にボランティアとして関わっている。2008年度は「総合的な学習の時間」に学生が加わる等、地元の中学生と大学生が相互に理解を深め、地域の結びつきに貢献することを目的に実施	横浜国立大学松本中学校(神奈川区)	通年	平成17年度
34	神奈川大学	地元商店街でのインタビュー活動	「神奈川大学日本語・日本文化プログラム」に参加の外国人留学生を、六角橋商店街へ派遣。日本語授業の一環として、商店や飲食店等でインタビューを行い、交流を深めるとともに、日本語学習として活用	六角橋商店街	令和元年7月、令和2年1月	平成23年度
35	神奈川大学	神奈川警察署による防犯ガイダンスの実施	受入交換留学生のガイダンスの一環として、学期初めに神奈川警察署による防犯に関するガイダンスを実施	神奈川警察署	令和元年9月	平成27年度
36	神奈川大学	横浜港見学会	「協定校教職員交流プログラム」に参加の本学協定校教職員を、一般社団法人横浜港振興協会が実施する「横浜港見学会」へ派遣。マリンシャトル乗船、港湾施設見学等を通じて横浜港の取組に関する理解を促進	(一社)横浜港振興協会	令和元年11月	平成29年度
37	神奈川大学	KSGG (Kanagawa Systematized Goodwill Guide)	「神奈川大学日本語・日本文化プログラム」実施に外部訪問・見学を実施するにあたり、ボランティア通訳者を派遣してもらい、留学生への通訳を担当	KSGG (Kanagawa Systematized Goodwill Guide)	令和元年7月、令和2年1月	平成28年度
38	神奈川大学	キンピール株式会社の見学	「神奈川大学日本語・日本文化プログラム」に参加の外国人留学生を、キンピール株式会社へ派遣。工場見学等を行い、日本企業の取組方や生産の現場に関する理解を促進	キンピール(株)	令和元年7月、令和2年1月	平成29年度
39	神奈川大学	赤レンガ倉庫でのワークショップの参加	受入れ交換留学生(日本語である程度会話ができる学生を対象)が赤レンガ倉庫内を見学し、館内で働いている店舗スタッフとディスカッションをするワークショップを実施した 観光、商業等に興味のある留学生にとって日本企業の取組みなどを学ぶ機会として活用	(株)横浜赤レンガ倉庫	令和元年10月	令和元年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
40	神奈川大学	横浜市内大学間学術・教育交流協議会 横浜市内大学図書館コンソーシアム	横浜市内大学図書館コンソーシアムは、「横浜市内大学間学術・教育交流協議会」の会員校によって、学生の教育機会の多様化を図ること、相互に各図書館の特性を生かしつつ協力し、交流を深め、教育・研究活動の推進を図ることを目的として結成 原則として加盟大学の学生、教職員は加盟大学図書館内の閲覧利用が可能	横浜市内大学(13大学) 神奈川大学、関東学院大学、慶應義塾大学、國學院大学、鶴見大学、桐蔭横浜大学、東京都市大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、明治学院大学、横浜国立大学、横浜商科大学、横浜市立大学	平成31年4月～令和2年3月	平成15年度より年間通して実施
41	関東学院大学	ボランティアコーディネート	大学生を対象としたボランティア活動のコーディネート	県内各社会福祉協議会、金沢区内地域ケアプラザ、神奈川県内福祉施設・事業所	通年	平成24年度
42	関東学院大学	寄付つき自動販売機プロジェクト	小学生を対象に、地域の助けあいをテーマに学習会を行い、デザインやメッセージを考え、それらをもとにラッピングした自動販売機による飲み物の販売 売上げから寄付を行う	釜利谷西小学校(当時)、神奈川県協働募金会、サントリー	通年	平成28年度
43	関東学院大学	関ヶ谷地域連携会議	関ヶ谷地域の課題解決に向けた情報交換	関ヶ谷自治会、横浜市立義務教育学校 西金沢学園	年2回(6.2月)	平成27年度
44	関東学院大学	ピアぶんこ祭の実施	金沢文庫キャンパスにおいて「ピアぶんこ祭」というイベントを6月に実施 障害者スポーツ体験、障害者福祉施設で製造されたパン販売、障害者が地域で暮らすことをテーマとした映画の上映会、学生によるハンセン病差別の歴史に係る展示、地域の方や障害を持った方の発表等を実施	金沢区社会福祉協議会、横浜市内の障害者福祉施設	令和元年6月	平成30年度
45	関東学院大学	地域住民向け公開講座の実施	社会学部教授の細田聡による地域公開講座「いざというときの心理学」を開催 125名が参加	関ヶ谷自治会、夏山自治会、パークタウン自治会、山の手自治会	令和元年10月	令和元年度
46	関東学院大学	RUN伴+三浦半島金沢区実行委員会	認知症啓発のためのたすきリレーRUN伴+を金沢区で初開催すべく、有志学生がRUN伴+三浦半島実行委員、金沢区役所、金沢区社協、地域ケアプラザと連携して活動した 11月に無事に金沢区で初開催し、金沢区でつなげたたすきを三浦半島の横須賀市、逗子市、葉山町等につなげた	金沢区役所、金沢区社会福祉協議会、金沢区内地域ケアプラザ、RUN伴+三浦半島実行委員	令和元年11月	令和元年度
47	関東学院大学	障害を持った方、サポートしている方々との交流	「障害と社会」の授業内で社会福祉法人職員による業務・活動、障害者が地域に受け入れられていくまでの歩み等を紹介 障害者の方がお昼休みに来校し、学生に向けた講話と交流を実施 「地域福祉の方法」の授業内で障害者による演劇発表	横浜市内の社会福祉法人	令和元年11月	令和元年度
48	関東学院大学	認知症サポーター養成講座の開催	認知症サポーター養成講座を実施 141名のサポーターを養成した	西金沢地域ケアプラザ、釜利谷地域ケアプラザ、金沢区役所	令和1年1月	平成27年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
49	関東学院大学	K-biz 崎陽軒ウォーカー・プロジェクト	K-biz 崎陽軒ウォーカー・プロジェクトは、関東学院大学、崎陽軒、横浜ウォーカー（KADOKAWA）の3者がコラボして、「横浜の新名物」の創造を目指して進めたプロジェクトです 「横浜で長く親しまれる、もちっとした食感のお菓子」というテーマの下、経営学部の学生たちが提案した「横濱の灯り」が商品化されました 2019年11月1日より崎陽軒各店舗で販売されています	KADOKAWA(横浜ウォーカー)、崎陽軒	通年	平成30年度
50	関東学院大学	K-biz 志プロジェクト	中小企業は優秀な人材を採用することが難しいといわれており、学生は地元企業を知る機会が少なく、「自分がやってみたい仕事はできるのか」という不安を抱えています こうした企業と学生のミスマッチを改善し、学生たちが高い志を持つ中小企業を知るために、学生が会社案内を作成するプロジェクトです 2020年2月13日に会社案内の発表を行い、企業の方にフィードバックを頂きました	富士ゼロックス、野毛印刷	令和元年9月～令和2年2月	平成28年度
51	関東学院大学	K-biz みるくプロジェクト	K-biz みるくプロジェクトでは、障がい者スポーツの紹介を通じて、競技としての魅力を紹介するだけでなく、多くの人達に「多様な価値観を認め合いながら共生する社会を創造する」ことを目標にしています 2019年6月2日に行われた「創造祭スポーツフェスティバル2019」に、学生が車いすスポーツ体験コーナーの運営スタッフとして参加しました	中外製薬、毎日新聞社	令和元年6月	平成28年度
52	関東学院大学	K-biz ご当地ラーメンプロジェクト	K-biz ご当地ラーメンプロジェクトでは、京急電鉄と連携して、「金沢区のご当地ラーメン」を創生するべく、経営学部の学生にラーメンのアイデアを募集しました 採択された「海香る金沢 海苔のりラーメン」が本学食堂部と連携し、11月に期間限定で本学金沢八景キャンパス・3号館食堂ローズにて販売されました	京急電鉄、金沢区役所	令和元年11月	平成30年度
53	関東学院大学	K-biz ヨコハマ・コネクト	「横浜が成長産業でもあるインバウンド需要を取り込めていない」という課題をきっかけとして立ち上がったプロジェクトです。学生が自分たちでガイドすることを想定し、外国人観光客を横浜へ呼び込むための新たな観光プランを企画立案しました 2020年2月14日に行われたプラン提案会では、京急電鉄、KADOKAWA、横浜ベイシエラトンの3社からフィードバックを頂きました	京急電鉄、KADOKAWA、横浜ベイシエラトン	令和元年9月～令和2年2月	平成30年度
54	関東学院大学	K-biz Sheraton Suites and Sweets	「Sheraton Suites and Sweets」は横浜ベイシエラトンのラウンジと個室利用に関する提言を行うプロジェクトです 2019年12月14日、報告会を行い、横浜ベイシエラトンからフィードバックを頂きました	横浜ベイシエラトン	令和元年12月	令和元年度
55	関東学院大学	神奈川県内工業高校・大学連携推進協議会	神奈川県内の工業高校及び理工系分野をもつ6大学が連携し、工業を学ぶ高校生のための大学講座、進学セミナー、シンポジウムを実施する	神奈川県内工業高校及び同県内5大学	令和元年6月	平成16年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
56	関東学院大学	1日体験化学教室	小学生、中学生、高校生に化学の現象を身近に感じてもらい、化学の素晴らしさを体験してもらう	日本化学会関東支部	令和元年7月	平成9年度
57	関東学院大学	青少年のためのロボフェスタ	ロボットをとうして、子どもたちにもづくりの楽しさや、科学の素晴らしさを体験してもらうことが目的で開催されている	神奈川県立青少年センター科学支援課	令和元年9月	平成26年度
58	関東学院大学	サイエンスフェア	県内に立地している理工系の大学等と協働で、中学生・高校生の皆さんを対象として、科学の不思議や魅力を見て、聴いて、知ってもらうためのイベント	神奈川県政策推進課	令和元年7月	平成21年度
59	関東学院大学	子ども科学探検隊	小学校4年生～6年生を対象とした、「科学のふしぎ・ものづくりの感動」を体験するためのイベント	神奈川県青少年科学体験活動推進協議会	令和元年8月	平成21年度
60	関東学院大学	中高生サイエンスキャリアプログラム	神奈川県内の中高生を対象とし、大学・企業等の施設見学、実験・工作などの体験活動、研究者による講話等、普段の学校生活では体験できない機会を提供し、科学に対する興味や関心を高め、知識を深めるとともに、将来の理系への進学や職業についての意識を高めることを目的としたイベントである	神奈川県青少年科学体験活動推進協議会	令和元年8月	平成27年度
61	関東学院大学	法学部自治体等インターンシップ	関東学院大学又は同法学部と連携協定を締結している自治体・企業等その他機関等との協力関係の下、インターン学生が、受入先の自治体等のいずれかの部署(部・課等)に配属され、実習を受ける。業務の紹介・見学等のみならず体験型学習(ジョブシャドウ含む)を行う	金沢警察署、金沢消防署	令和元年8月	平成30年度
62	関東学院大学	法学部自治体等インターンシップ	関東学院大学又は同法学部と連携協定を締結している自治体・企業等その他機関等との協力関係の下、インターン学生が、受入先の自治体等のいずれかの部署(部・課等)に配属され、実習を受ける。業務の紹介・見学等のみならず体験型学習(ジョブシャドウ含む)を行う	リコージャパン神奈川支社	令和元年9月	平成30年度
63	関東学院大学	横浜南部市場共栄会と連携した食品関連卸売センター活性化に関する支援活動	共栄会加盟の店舗の紹介をしたミニコミ誌の発行、大感謝祭の出店などを通し、食品関連卸売センターの活性化を支援する活動を行う	横浜南部市場共栄会	平成30年4月～平成31年3月	平成27年度
64	関東学院大学	通所介護事業所を通した金沢区のまちづくり	連絡会加盟の事業者の紹介をしたパンフやマップの作成を通し、大学や地域のイベントに出店し、地域の方々の交流を図り、地域活性化への支援活動を行う	金沢区通所介護事業者連絡会	平成30年4月～平成31年3月	平成28年度
65	関東学院大学	ラグビールール教室、ならびに、歩き方教室とフットパス	ラグビーワールドカップ2019の開催に際して、横浜市金沢区地域振興課から公会堂で実施するパブリックビューイングにて試合前にラグビールール教室の実施依頼を受け、ラグビー部、本ゼミ生とで開催した。また、泥亀ヶアブラザと合同で歩き方教室とフットパスを実施した	金沢区地域振興課、泥亀ヶアブラザ	令和元年8、9月(ルール教室)、12月(歩き方教室・フットパス)	平成30年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
66	関東学院大学	一般財団法人シルクセンター国際貿易 観光会館・シルク博物館主催「シルキー・ ウィンター・フェスティバル」	シルク振興を目的として毎年12月初旬から翌年1月上旬までの約5週 間の会期で開催される「シルキー・ウィンター・フェスティバル」のメインイ ベント会場の空間構成とプログラムに参加(ファッションショー実施)している	(一財)シルクセンター国際貿易観光会 館・シルク博物館	令和元年12月	平成25年度
67	関東学院大学	シルクファッションショー	横浜スカーフのPRなどを目的としたファッションショー	シルク博物館	令和元年12月	平成25年度
68	関東学院大学	ツムギベーカリーと高梨農園の連携プロ ジェクト	ツムギベーカリー(横浜市金沢区泥亀)にて、三浦の高梨農園の加工品 販売のディスプレイ協力、三浦野菜を用いた新作パンの提案などを行っ ている	ツムギベーカリー(TUMUGI BAKERY)	令和元年6月～令和2年3月	平成30年度
69	関東学院大学	(株)ユニオン産業(日吉工場)	日吉工場で微粉化した廃竹と廃プラを混合した再生材料を用いた 食器や自動車部品の研究開発を行っている	(株)ユニオン産業本社(川崎市)、森 川真彦社長	令和元年12月	平成27年度
70	関東学院大学	山陽印刷まるごとギャラリー ワークショップ 「不織布を使ってミサンガを作ろう!」	山陽印刷株式会社との地域連携の一環として今年度初めてワー クショップという形で参加 今後は地域全体を視野に問題解決を可視化する連携活動を継続して いく予定	山陽印刷(株)、アーティストネットワー ク+コンパス	～令和元年10月(継続)	平成25年度
71	関東学院大学	横浜そごうシーガルシアター親子向け企 画	新都市ホールでの親子向けイベントに年間を通して参加し、参加型の 読み聞かせを中心とした活動を開催	(株)そごう・西武 そごう横浜店 販売促進部 売出計画 シーガルシア ター担当	平成31年4月～令和元年12 月	平成27年度
72	関東学院大学	金沢区市民団体シニアネットワーク主催	金沢区地域ケアプラザに赴きフレイル対策を実施、食支援を実施した 今年度はフレイル健診を栄養学部内に赴き実施した	金沢区市民団体シニアネットワーク主 催	令和元年6月～	平成30年度
73	関東学院大学	金沢区三師会嚙下在宅医療チーム	金沢区三師会において、金沢区の在宅療養者で嚙下障害患者に対し チームを作り在宅医療を実施する	金沢区三師会	令和元年1月～	平成30年度
74	関東学院大学	朝カフェ	時短朝食の企画及び周知	横浜市健康福祉局 カルビー(株)	令和元年11月	平成30年度
75	関東学院大学	横浜金沢産業連絡協議会との産学連 携推進に関する協定	通常総会及び新年賀詞交歓会等に参加し、情報共有・連携に向けた 検討を実施	(一社)横浜金沢産業連絡協議会	令和元年5月、令和2年1月	平成21年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
76	関東学院大学	市民向け公開講座の共同実施	NPO法人横濱金澤シティガイド協会と共同で公開講座を実施。座学および街歩きにより、金沢区とその周辺地域の歴史を学ぶ講座を実施	NPO法人横濱金澤シティガイド協会	令和元年5～6月、9～11月	平成21年度
77	関東学院大学	中学生向け職業体験学習の受入	中学生向けに、学習意欲の喚起、職業観の育成および職業に対する理解を深める機会を提供	市内中学校	令和元年11月	平成26年度
78	関東学院大学	連続公開講座「関内学」	関内エリアの文化やまちづくりを次世代に継承することを目的とした連続公開講座「関内学」を開講	藤木企業(株)、(株)キタムラ、(株)萬珍樓、(株)新井清太郎商店	令和元年5月、9月、11月、令和2年2月	令和元年度
79	関東学院大学	特別公開講座「横浜学」	KADOKAWA横浜ウォーカーおよび横浜市等と連携し、市民向けの特別公開講座「横浜学」を開講	(株)KADOKAWA横浜市	平成31年4月、令和元年6月、8月、10月、12月、令和2年2月	平成25年度
80	関東学院大学	スポーツフェスティバル	陸上競技部、サッカー部、バスケットボール部、ストリートダンス部、チアダンス部、ソフトテニス部による、小中学生対象スポーツ教室を開催する際、近隣の商店・企業の協力により三浦野菜や、焼鳥、クレープなどを販売	横浜マリノス(株)	令和元年6月	平成23年度
81	関東学院大学	喫煙防止啓発キャンペーン	世界禁煙デーに合わせて学内にブースを設けて喫煙者の肺年齢を測定やチラシを配付をし、世界禁煙デーは学内を全面禁煙として禁煙啓発を実施	横浜市金沢区保健福祉センター	令和元年5月	平成23年度
82	関東学院大学	横浜マリノス株式会社による本学サッカー部へのコーチ派遣	横浜マリノス株式会社から本学サッカー部へヘッドコーチ1名、コーチ1名を派遣し、サッカー部の強化を推進	横浜マリノス(株)	平成31年4月～令和2年3月	平成23年度
83	慶應義塾大学	港北べんきょう会(寄り添い型学習支援)	経済的困窮世帯の中学生への学習支援活動 生徒1・2人に対して学生1人がつき、主に学習面をサポートしながら居場所を提供している	横浜市港北区役所 NPO法人楠の木学園	毎週月曜日、火曜日、木曜日	平成23年度
84	慶應義塾大学	慶應義塾大学・読売新聞市民講座 スポーツの見方・楽しみ方 「まだ間に合う！ラグビーの楽しみ方～今ラグビーがアツイ！～」	慶應義塾大学体育研究所・スポーツ医学研究センターと読売新聞横浜支局共催で行われる、スポーツの見方や楽しみ方についての講座の開催	読売新聞横浜支局	令和元年7月	平成23年度
85	慶應義塾大学	居場所「カドベヤで過ごす火曜日」(地域交流事業)	慶應義塾大学教養研究センターにおいて、コトラボ合同会社と共同で運営しているオルタナティブ・スペース 地元の寿町や、中区・南区の住民、地元で働く人たち、そして学生たちも含め、あらゆるバックグラウンドの人々が自由に行き来して一緒に何かコトを起こしている場所	居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会 コトラボ(同)	毎週火曜日	平成22年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
86	慶應義塾大学	たかたの丘音楽会 (港北区内中学校での演奏会)	慶應義塾大学塾生と、区内中学校吹奏楽部、小学校特別音楽クラブによる演奏会	高田町連合町内会	令和元年6月	平成27年度
87	慶應義塾大学	桜スポーツフェスタ	下田体育会5部(野球部、サッカー部、蹴球部、ホッケー部、ソフトテニス部)を中心に「地域交流」と「港北区下田5部のつながり」を大きな目的としたお祭り。	桜スポーツフェスタ実行委員会	令和2年3月実施予定	平成20年度
88	國學院大學	國學院大學 第22回記念狂言の会	小学生向けの特別鑑賞会を実施 市内近隣小学校6年生を招待し、国語の教科書にてくる演目の鑑賞および狂言師によるワークショップにより教科書だけでなく、活きた学びを提供 一般の部の鑑賞会においては、地元下谷自治会をご招待した	横浜市内の公立小学校。下谷自治会	令和元年11月	平成27年度
89	國學院大學	地域交流第5回スポーツフェスティバル	地域の方々を対象に、スポーツ科学に関する様々な体験をしていただくイベントを開催 近隣小学校およびPTA・自治会と連携を図って実施した 専門知識を持った本学の教員と学生が、いろんな種類の体力測定や、栄養・体組成チェックなどを実施 教員にとって研究・学生にとっては大学での学びを活かす場であるとともに、地域の皆さまへは健康増進に貢献することを目的としている	横浜市内の公立小学校。下谷自治会	令和元年10月	平成21年度
90	國學院大學	第11回共育フェスティバル	地域の方々および子どもが楽しめるイベントを開催 教員にとって研究・学生にとっては大学での学びを実施する機会であるとともに地域の方々との連携によって「共育」を実践する場である ※「共育」とは、國學院大學と地域社会・地域住民がともに手を携えて地域における社会貢献活動を推進する取り組みのこと	横浜市内の公立小学校	令和元年10月	平成27年度
91	湘南医療大学	大学で学ぼう～生涯学習フェア～生涯学習フェア	左記イベントの一部である生涯学習相談コーナーへのブース出展(来訪者対応)	かながわ大学生涯学習推進協議会事務局	令和元年9月	平成30年度
92	昭和大学	若葉台健康フェスタ	かながわ人生100歳時代のプロジェクトから昭和大学独自の取り組みとして高齢化の深刻な大規模集合住宅の健康増進のため、健康フェスタを開催している 2019年11月15日に第1回を開催して、2020年4月19日に第2回開催を予定している。この企画では、地域の人と協働して、地域の子供から高齢者までのすべてのライフステージの方が楽しめるように、成人・高齢者対象の部、子供と親対象の2部形式の健康フェスタを行っている	NPO法人 若葉台 若葉台スポーツ・文化クラブ 神奈川大学 かながわ人生100歳時代ネットワーク	令和元年11月	令和元年度
93	昭和大学	認知症カフェでの健康教育	認知症予防のための予防教育と体操 血圧測定、骨密度測定 本学学生のボランティアも参加した	認知症 & 予防カフェ とんとんセンター南(都筑区) 代表 鈴木 忠弘氏	令和元年7月、8月	平成29年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
94	昭和大学	介護職員等喀痰吸引研修	神奈川県委託事業である社会福祉士及び介護福祉士法に基づく第3号喀痰吸引等研修の講師派遣(計7回)および大学施設の無償使用(計6回)	NPO法人フュージョンコムかながわ	令和元年5月～令和2年2月	平成24年度
95	昭和大学	喀痰吸引等指導者伝達講習会の講師派遣等	神奈川県委託事業である看護職員等を対象とした喀痰吸引等研修における指導者養成のための研修会の講師派遣(計2回)および大学施設の無償使用(計4回)	NPO法人フュージョンコムかながわ	令和元年6月、7月、11月、令和2年2月	平成24年度
96	昭和大学	介護職員等喀痰吸引等フォローアップ研修の講師派遣等	神奈川県委託事業である介護職員等を対象とした喀痰吸引等の技術・知識のフォローアップ研修の講師派遣(計2回)および大学施設の無償使用(計1回)	NPO法人フュージョンコムかながわ	令和元年9月、令和2年1月	平成28年度
97	昭和大学	研修実施委員会の委員就任	社会福祉士及び介護福祉士法に基づく喀痰吸引等研修の登録研修機関における研修実施委員会の副委員長として就任	NPO法人フュージョンコムかながわ	平成31年4月～令和2年3月	平成28年度
98	昭和大学	訪問看護師養成講習会の講師派遣	訪問看護師養成講習会における講師派遣	公益社団法人神奈川県看護協会	平成31年4月	平成27年度
99	昭和大学	緑区訪問リハビリテーション連絡会主催の研修会における講師派遣	緑区訪問リハビリテーション連絡会に所属するリハビリテーション職の生涯教育としての研修会における講師派遣	緑区訪問リハビリテーション連絡会	令和2年3月	平成30年度
100	昭和大学	神奈川県看護協会看護師職能委員会Ⅱ講演会の講師派遣	神奈川県看護協会の看護師職能委員会Ⅱが主催する講演会における講師派遣	(公社)神奈川県看護協会	令和元年6月	令和元年度
101	昭和大学	神奈川県精神障害者スポーツ大会実行委員会	ピアスポーツかながわを開催した精神障がい者の方たちにも多くのスポーツを経験する機会を提供するスポーツを通して、健康を取り戻す	神奈川県スポーツ局スポーツ課障害者スポーツグループ	令和元年7月(カルッツかわさき)9月(海老名総合運動公園)令和2年2月(茅ヶ崎市総合体育館)	令和元年度
102	昭和大学	神奈川県精神障害者スポーツ大会実行委員会	神奈川県精神障害者スポーツ大会を開催した全国障害者スポーツ大会の精神障害者バレーボール競技会とボウリング競技会の神奈川県予選大会を行った	神奈川県スポーツ局スポーツ課障害者スポーツグループ	令和元年11月バレーボール競技会(大和スポーツセンター)12月ボウリング競技会(湘南とうきゅうボウル)	令和元年度
103	星槎大学	新聞を活用した授業デザイン(NIE)講習	多くの学校が校外学習で来館する横浜のニュースパーク(日本新聞博物館)や各地域の新聞社(北海道新聞社、北日本新聞社)の施設を用いて、実際にNIEを体験しながら、今後の教育活動に活用可能な実践的演習を提供する	日本新聞博物館	令和元年8月	平成21年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
104	星槎大学	職業講話	緑が丘中学校の生徒を対象とした職業講話を実施 坪内は、環境・動物保全に関する職業講話 佐々木は、ジャーナリストに関する職業講話	緑が丘中学校	令和元年11月	平成29年度
105	星槎大学	教員向け人権研修	緑が丘中学校の教員を対象とした研修会を実施	緑が丘中学校	令和2年1月	平成31年度
106	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	介護予防事業	介護が必要になる手前の状態「フレイル」予防の普及啓発のため講演会等を実施	鶴見区	令和元年9月	令和元年度
107	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	よこはま福祉保健カレッジ 鶴見大学連携事業	横浜市内在住・勤務している介護・福祉専門職向けの摂食嚥下リハビリテーションの研修会	横浜市社会福祉協議会	令和元年9月	平成30年度
108	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	防犯パトロール ATM警戒	鶴見警察署の支援を受け、大学の課外活動車に青色回転灯を搭載させて、鶴見大学の周辺地域、特に本学から荒立女子学生寮の通学路を防犯パトロール活動を行っており、神奈川県内の大学生を中心とした若い世代の防犯ボランティア団体である、神奈川防犯シーガル隊との合同パトロールも実施している また、振り込め詐欺を含む各種犯罪防止のため、病院やコンビニエンスストア等のATM付近で警戒にあたる取組を行っている	鶴見警察署	<通常パトロール> 平成31年4～7月、 令和元年10～12月 毎週水曜日 <合同パトロール> 令和元年6月 <ATM警戒> 令和元年12月	平成25年度
109	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	歯と口の健康週間イベント	区役所にて歯科医師会(主催)とともに実施するイベントに、歯科衛生科学生が参加。※平成24年以前は「歯の衛生週間」の名称で参加	鶴見区	令和2年2月打ち合わせ 令和2年10月頃完成予定	平成25年度
110	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	つるみ夢ひろば in 總持寺	横浜・鶴見の文化に親しみ、東日本大震災被災地との絆を深める	鶴見区大本山總持寺	令和元年11月	平成24年度
111	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	はなまつりコンサート	4月8日、お釈迦さまの誕生をお祝いするとともに、広く地域の方々に本学を理解し、親しみを深めていただくための事業	大本山總持寺	平成31年4月	平成22年度
112	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	歯の健康フェスティバル	青葉区総合庁舎にて歯科医師会(主催)とともに実施するイベントに、歯科衛生科学生が参加	青葉区	令和元年6月	平成11年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
113	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	図書館総合展フォーラムでの講演発表	大学図書館の再生は地域開放と郷土資料の活用だ！～地域のどこにもある民話や伝説、言い伝えの昔ばなしで人はまちを知り楽しむ～と題して、マルチメディア・デージー本等の紹介を行った相互に情報交換をはじめ、それぞれの図書館にある地域資料に陽の目をあてて、その中から得た素材を基に、マルチメディアデージー図書や点字付き絵本等を、学生らと協同で作成するに至った	横浜市	令和元年11月	令和元年度
114	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	NPO法人・生麦こども食堂における学生のボランティア活動	地域のこども食堂(開催場所:横浜市生麦地域ケアプラザ)において、食堂の配膳・片付け等の手伝い及び参加する子どもへの支援を行う	鶴見区・NPO法人・生麦こども食堂	令和元年5月～9月	令和元年度
115	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	子育て支援活動NPO法人はなはなひろば・学生との交流	地域の子育て支援ひろばにおいて、学生が乳幼児及びその保護者、支援者と交流し、話を聴いたり一緒に遊んだりする	鶴見区・NPO法人はなはなひろば	令和元年8月～9月	平成29年度
116	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	教員免許更新講習	本学短期大学部保育科教員が講師となり、幼稚園教諭免許更新講習を行う	横浜市	令和元年8月	平成29年度
117	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	学内合同企業説明会	文学部3年生を主な対象とし、企業約100社を招いた合同企業説明会を実施 企業の概要や仕事の内容などについて人事担当者から直接話を聞く	民間企業	令和元年5月～令和2年3月	平成12年度
118	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	横浜商工会議所インターンシップ	夏季休暇などを利用し、民間企業や官公庁などで就労体験をする 横浜市内の9大学と企業、横浜商工会議所が連携したインターンシップ制度	市内9大学、横浜商工会議所	令和元年8月～9月	平成20年度
119	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	鶴見大学インターンシップ	夏季休暇などを利用し、民間企業や官公庁などで就労体験をする	民間企業、官公庁など	令和元年8月～9月	平成20年度
120	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	「鶴見れきぶん祭」連携鶴見歴史資料展示会	大学×図書館×企業×鶴見区内各種団体×連携イベント「鶴見れきぶん祭」の関連企画として、大学図書館での歴史資料展示を企画	鶴見れきぶん祭実行委員会	令和2年3月	令和元年度
121	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	探究的な学びを支える学校図書館デザイン	探究的な学びを支える学校図書館デザインでの講演	学校図書館を考える会・横浜	令和2年3月	令和元年度
122	鶴見大学・鶴見大学短期大学部	株式会社サカタのタネと学校法人総持学園鶴見大学短期大学部とのアクティブラーニング	神奈川県政策局政策部NPO協働推進課が実施する「パートナーシップ支援事業」を経て、鶴見大学短期大学部と株式会社サカタのタネが締結したアクティブラーニングに関する協定のもと、保育科「生活科学」・専攻科保育専攻「保育環境論」等の授業内で、サカタのタネの専門家の方の栽培に関する講義や園芸指導、助言を頂きながら、キャンパス内の専用菜園で実践する、学生の野菜栽培体験学習	(株)サカタのタネ	平成31年4月	平成28年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
123	桐蔭横浜大学	体力測定	奈良地区の高齢者の体力測定の実施	奈良地区社会福祉協議会	令和元年5月	令和元年度
124	桐蔭横浜大学	「専門家から学ぶ！正しいウォーキング講座！」	ロコモティブシンドローム予防などの健康づくり	大場地域ケアプラザ、横浜市福祉サービス協会	令和元年9月	令和元年度
125	桐蔭横浜大学	かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア	県内理工系大学・企業が協働で行う、理工系の魅力を発信するイベント。科学や理工系の実演・体験ブース、学校説明ブース 医療現場で使われている超音波診断装置を使い、身体の中の臓器を実際に見ることができ、ヘモグロビン濃度の測定、唾液でわかるストレスチェックも行い、臨床検査技師がおこなう仕事も説明した	神奈川県政策局政策部総合政策課	令和元年7月	平成21年度
126	桐蔭横浜大学	中高生のサイエンスキャリアプログラム	本学にて、からだを調べ、いのちを支える(医療系技術者の仕事を体験)医療系技術者について講演、血液型・輸血検査の体験、医療機器の操作体験を行った	神奈川県青少年科学体験活動推進協議会	令和元年7月	平成26年度
127	桐蔭横浜大学	子ども科学探険隊	本学にて、桐蔭英語村でアクティビティ、おもしろ理科教室参加	神奈川県青少年科学体験活動推進協議会	令和元年8月	平成26年度
128	桐蔭横浜大学	第22回大学で学ぼう～生涯学習フェア～	記念講演、大学の学び相談コーナー、大学の公開講座・イベント、大学資料コーナー個別相談	かながわ大学生涯学習推進協議会	令和元年9月	平成10年度
129	東京藝術大学大学院映像研究科	馬車道まつり「トワイライトコンサート 東京藝大ウィンドオーケストラ」	本学音楽学部の協力を得て、地元馬車道商店街の馬車道まつりの一環として例年実施している市民向けプラスバンドコンサートを開催した	主催：東京藝術大学、馬車道商店街(協組)、横浜市文化観光局 共催：関内ホール	令和元年11月	平成20年度
130	東京藝術大学大学院映像研究科	横浜シネクラブ(フランス映画上映会)	アンスティチュ・フランセ日本が主催し、横浜市文化観光局が後援するフランス映画上映会「シネクラブ」全4回について、馬車道校舎大視聴覚室での上映会に協力した	主催：アンスティチュ・フランセ日本 後援：横浜市文化観光局 協力：東京藝術大学大学院映像研究科	令和元年5月～12月	平成17年度
131	東京藝術大学大学院映像研究科	受託事業「Marine and Walkにおける映像展示事業」	横浜みなとみらい21新港地区に立地するオープンモール「MARINE & WALK YOKOHAMA」において、プロジェクトマッピングによるディスプレイを行っている	(株)グリーンルーム	平成31年4月～令和2年3月	平成28年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
132	東京藝術大学大学院映像研究科	馬車道プロジェクション	映像研究科修士学生の制作したアニメーションを、神奈川県立歴史博物館の協力を得て馬車道口の壁面に投影した アニメーションは投影壁面の窓や装飾に合わせて制作しており、普段とは違う壁面の見え方を楽しむ内容になっている 投影は映像研究科3Fの窓から行っている	主催：東京藝術大学大学院映像研究科、横浜市文化観光局 協力：神奈川県立歴史博物館 協力：神奈川県立歴史博物館、馬車道商店街(協組) NIGHT SYNC YOKOHAMA 2019 パートナーシップ事業	令和元年10月～11月	平成28年度
133	東京藝術大学大学院映像研究科	「創造的イルミネーション事業」映像コンテンツ制作事業	NIGHT SYNC YOKOHAMA(ナイト・シンク・ヨコハマ)における、映像コンテンツの制作	クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会	令和元年9月～11月	令和元年度
134	東京藝術大学大学院映像研究科	「時計の住人」プロジェクションマッピング事業	国立病院機構 横浜医療センターのロビーにプロジェクション・マッピングによる癒しの空間を演出	(独)国立病院機構横浜医療センター	令和元年10月～令和2年3月	令和元年度
135	東京都市大学	元町百段公園でのバラの無農薬栽培推進	2012年から、山手みどりの会、なか区民クラブ、サカタのタネと、環境学部環境創生学科田中研究室およびランドスケープ研究会所属の学生たちが協働し、横浜山手地区の公園における、香りの植栽、生物多様性に配慮した都市緑化、バラの無農薬・無化学肥料栽培などの技術的支援と共同の実証実験を推進している また、田中教授は、植栽植物の維持管理を行うと同時に、バラの無農薬栽培、生物多様性に配慮した都市緑化、都市型里山バンキングなどの講演を上記市民団体に行っている 2018年度からは、百段公園のポールにおいて大島産火山礫を用いた植栽基盤の整備、ツルバラなどの植栽、それに伴うシジュウカラの巣箱設置、またそれらの維持管理を行い、都市緑化における無農薬化推進について、啓発を行っている	なか区民クラブ、横浜ばら会など	平成31年4月～令和2年3月	平成24年度
136	東京都市大学	つづきジュニア編集局	地域の小学生から高校生までを対象としたメディア活動の共同運営(NPO法人ミニシティプラスとの協働、活動自体は都筑区制15周年事業としてスタート)	つづきジュニア編集局	通年	平成21年度
137	東京都市大学	つづきアーカイブクラブ	横浜市都筑区の地域アーカイブ活動団体(有志団体)の支援	つづきアーカイブクラブ	通年	平成23年度
138	東京都市大学	高校生インターンシップへの協力	メディア情報学部への高校生受け入れ	神奈川県立高等学校横浜北地区インターンシップ地域連絡協議会	令和元年8月	平成29年度
139	東京都市大学	トンボはドコまで飛ぶかフォーラム トンボ一斉調査	京浜臨海部工業地帯の企業緑地内におけるトンボ一斉調査(マーキングしてトンボがどこまで飛んでいるかを把握する調査)への調査協力	トンボはドコまで飛ぶかフォーラム	令和元年8月	平成27年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
140	東京都市大学	茅ヶ崎公園自然生態園 生態系調査	港北ニュータウン内の保全地域である茅ヶ崎公園自然生態園において、ニホンアカガエルの保全増殖や林床植生環境の保全のための生態系調査を実施(学生の研究フィールドとして連携)	茅ヶ崎公園自然生態園	令和元年	平成28年度
141	東洋英和女学院大学	上級学校訪問プログラム	ミニ授業の受講、図書館内ガイドツアー、特別企画への参加	横浜私立十日市場中学校	令和元年9月	平成29年度
142	日本体育大学	地元自動車学校イベントへの出演	「青葉祭」和太鼓の演技披露	青葉自動車学校	令和元年5月	令和元年度
143	日本体育大学	地元清掃	「グリーンヒル鴨志田西団地清掃」 大学隣接団地との側道合同清掃	グリーンヒル鴨志田西団地自治会	令和元年6月、10月、12月	平成24年度
144	日本体育大学	市内小学校への宿泊体験補助	「愛川宿泊体験学習」 小学5年生宿泊体験学習における教職員の補助等	横浜市立南瀬谷小学校	令和元年6月	令和元年度
145	日本体育大学	地元町内会イベントへの運営補助	「第5回鴨志田夏祭り」 祭りの運営補助(準備～片付け)	鴨志田町内会	令和元年7月	令和元年度
146	日本体育大学	地元町内会イベントへの出演	「納涼盆踊り大会」 ダブルダッチの演技披露および体験指導	井戸久保自治会	令和元年7月	令和元年度
147	日本体育大学	本学施設の貸し出し	「青葉ベースボールフェスタ」 施設貸出(野球場)	玉川大学、國學院大學、桐蔭横浜大学、日本体育大学、青葉区体育協会	令和元年7月	平成24年度
148	日本体育大学	地元町内会イベントへの運営補助	「納涼盆踊り大会」 受付、模擬店の運営補助	中恩田自治会	令和元年7月	令和元年度
149	日本体育大学	地元地区センターでの出張講座	「日本体育大学ラグビー部がやってくる！」 ラグビーのルール解説および体験	若草台地区センター	令和元年7月	令和元年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
150	日本体育大学	地元地区センターでの出張講座	「ラグビーワールドカップより試合を面白く見たい人集合！」 ラグビーのルール解説および体験	奈良地区センター	令和元年7月	令和元年度
151	日本体育大学	地元町内会イベントへの出演	「三自治会合同納涼祭」 ソングリーディング演技披露および体験指導	奈良二丁目・三丁目・グランジャルダン 自治会	令和元年7月	令和元年度
152	日本体育大学	地元町内会イベントへの参加	「防犯・交通安全講習会」 講習会の受講および発表	恩田連合自治会	令和元年7月	令和元年度
153	日本体育大学	市内中学校の生活支援	特別支援学級生徒の安全の見守り	横浜市立十日市場中学校	令和元年8月、9月	令和元年度
154	日本体育大学	地元小学校への宿泊体験補助	「愛川宿泊体験学習」 小学5年生宿泊体験学習における教職員の補助等	横浜市立鴨志田緑小学校	令和元年10月	令和元年度
155	日本体育大学	市内小学校への宿泊体験補助	「上郷宿泊体験学習」 小学4年生宿泊体験学習における教職員の補助等	横浜市立南瀬谷小学校	令和元年10月	令和元年度
156	日本体育大学	地元イベントへの運営補助	「あおばみんなの学校プロジェクト～AUTUMU～ みんなで感じる秋の夜長キャンプ～秋の夜長で遊ばナイト！～」 子どもたちとのふれあい	青葉台リビングラボ	令和元年11月	令和元年度
157	日本体育大学	本学イベントへの招待	「第57回体育研究発表実演会」 観覧に地元住民を招待(横浜アリーナ)	青葉区役所、青葉区連合自治会、 青葉6大学連携	令和元年11月	平成21年度
158	日本体育大学	地元町内会イベントへの出演	「区民交流センター祭り」 エッサッサの演技披露	恩田連合自治会	令和元年11月	令和元年度
159	日本体育大学	地元イベントへの運営補助および出演	「第6回青葉区民マラソン大会」 ソングリーディング演技披露、沿道整理、救護の運営補助	青葉区民マラソン運営委員会	令和元年11月	平成26年度
160	日本体育大学	地元小学校への宿泊体験補助	「上郷宿泊体験学習」 小学1～6年生個別支援学級の宿泊体験学習における教職員の補助 等	横浜市立谷本小学校	令和元年11月	令和元年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
161	日本体育大学	地元商店街イベントへの運営補助および出演	「マルシェふらり〜と青葉台2019」 ダブルダッチの演技披露、プラスバンドの演奏、救護等の運営補助	青葉台商店会	令和元年11月	平成25年度
162	日本体育大学	地元ショッピングセンターのイベントへの出演	「箱根駅伝壮行会」 陸上競技部のステージ出演、応援団・プラスバンドの演技披露	青葉台東急スクエア	令和元年12月	令和元年度
163	日本体育大学	地元町内会イベントへの運営補助	「第7回ふるさとマラソン大会」 マラソンの伴走及び応援等の運営補助	中里北部連合町内会	令和元年12月	平成29年度
164	日本体育大学	地元イベントへの出演	「青葉ふれあいまつり」 本学マスコットキャラクター着ぐるみ「レオ丸」の出演	青葉区社会福祉協議会 青葉ふれあいまつり実行委員会	令和元年12月	令和元年度
165	日本体育大学	地元イベントへの出演	「青葉区賀詞交換会」 応援団、プラスバンド、チアリーダーの演技披露	青葉区総務課	令和2年1月	平成30年度
166	日本体育大学	イベントへの運営補助	「第23回赤十字救急法競技会」 傷病者役および運営補助	日本赤十字社 神奈川支部	令和2年1月	平成30年度
167	日本体育大学	市内中学校への宿泊体験補助	「1年生自然教室」 中学1年生スキー実習における教職員の補助(生活指導等)	横浜市立寛政中学校	令和2年1月	令和元年度
168	日本体育大学	地元連合町内会研修での講師	「自治会長研修会」 講師派遣	恩田連合自治会	令和2年1月	令和元年度
169	日本体育大学	地元高等学校への学習支援	「田奈ゼミ学習支援ボランティア」 放課後補習の学習支援	神奈川県立田奈高等学校	令和元年8月～令和2年2月	平成29年度
170	フェリス女学院大学	国際機関実務体験プログラム	横浜市内の国際機関での100時間の実務体験ボランティアの場を学生に提供	(公財)横浜市国際交流協会	通年	平成17年度
171	フェリス女学院大学	緑園新春コンサート	泉区の高齢者支援NPOだんだんの樹と共催、泉区社会福祉協議会の後援で開催 出演者も地域の音楽家とフェリス音楽学部学生・院生が中心	NPO法人だんだんの樹	平成31年1月	平成15年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
172	フェリス女学院大学	クリスマスコンサート	学生による無料のロビーコンサート	(株)tvkコミュニケーションズ・(公財)横浜市芸術文化振興財団・(株)清光社・(株)横浜メディア アド共同事業体 横浜市吉野町市民プラザ	平成30年12月	平成27年度
173	フェリス女学院大学	日本語の個人指導	正課外で、留学生が日本語の個人指導を受けている	NPO法人留学生と語り合う会	通年	平成17年度
174	フェリス女学院大学	神奈川県タクシー協会とフェリス女学院大学との連携・協力事業	観光タクシーの更なる普及、認知向上に向けた連携事業の実施	(一社)神奈川県タクシー協会	通年	平成27年度
175	フェリス女学院大学	世界トライアスロンシリーズ横浜大会への協力	世界トライアスロンシリーズ横浜大会EXPOステージへの参加	世界トライアスロンシリーズ横浜大会事務局	平成30年5月	平成29年度
176	フェリス女学院大学	「緑園都市駅音環境デザインプロジェクト」における産学連携	緑園都市駅の構内の音環境の整備の一環として、電車到着サイン音「アンダンテ」を開発	相模鉄道(株)、相鉄ホールディングス(株)	通年	平成28年度
177	フェリス女学院大学	演奏ボランティア	学生による緩和ケア病棟での演奏	国際親善総合病院	年3回	平成28年度
178	フェリス女学院大学	プロジェクト演習(横浜と音楽)	授業科目「プロジェクト演習」にて、「横浜を音楽でつなぐ」をテーマにイベントの企画を行う	ららぽーと横浜	通年	令和元年度
179	放送大学神奈川学習センター	公開講演会	放送大学神奈川学習センター 客員教授 高橋和子による公開講演会「しなやか身心をめざして」を大岡地区センターの施設を会場として利用して開催。	横浜市大岡地区センター	令和元年10月	令和元年度
180	明治学院大学	ヤギ除草システム	エコキャンパスと称する本学横浜キャンパスの除草のためヤギを導入	(有)アルファグリーン	平成31年4月	平成25年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
181	明治学院大学	戸塚まつり	「環境」「国際」「福祉」を共通テーマとして、地域・学生・教職員が一体となり開催する学園祭 ①吹奏楽コンサート 近隣中学校と本学吹奏楽部とのコラボレーションによるコンサート ：倉田コミュニティハウス／倉田中学校 ②「ここからだの健康」につながる体験コーナー 「すべての人々の健康的な生活を育むために」という視点から地域住民・大学生の健康を応援する体験会を開催 ：公益財団法人横浜YMCA（横浜AIDS市民活動センター ／湘南とつかYMCA／舞岡地区センター） ③焼立てパンの試食・即売会 飲食環境改善を検討する本学学生グループと地域企業との連携による試食・即売会 ：ヤマザキパン横浜第一工場 ④選挙って何だろう？ 本学学生有志との連携により投票体験と開票の裏話や、投票行動についての講演を通して、学生と地域住民に対する選挙啓発を実施 ：横浜市戸塚区明るい選挙推進協議会 ⑤ゴミの分別体験 「ヨコハマ3R夢」プランを地域・学生に理解いただくための広報・啓発イベント ：資源循環局戸塚事務所	戸塚区役所・近親自治会等	令和元年5月	平成10年度
182	明治学院大学	「スポGOMI」大会	競技感覚でゴミ拾いを行う「スポGOMI」大会を地域・学生・職員にて開催	近隣自治会	令和元年7月	平成24年度
183	明治学院大学	横浜中地区公私合同説明・相談会	本件開催のための会場貸与と運営支援	神奈川の高校実行委員会	令和元年8月	平成26年度
184	明治学院大学	高校生・大学生向けフォーラム「ジェンダーとメディア表現」	（公財）横浜市男女共同参画推進協会と本学ボランティアセンター学生メンバー（海外プログラム事業部）で学生向けフォーラムを開催	（公財）横浜市男女共同参画推進協会	令和元年10月～11月	令和元年度
185	八洲学園大学	みなとみらいかもめschool	（一社）横浜みなとみらい21が主催する、みなとみらい21地区の就労者に向けた講座にて、企画の立案、本学の講師を派遣を実施	（一社）横浜みなとみらい21	令和元年5月、9月	平成25年度
186	横浜国立大学	地域課題実習「ハマの屋台PJ」	まちのにぎわいを生み出すツールとして、移動式屋台を提案し、大学周辺の常盤台地区、相鉄線南万騎が原駅周辺、関内周辺を活動エリアとして、屋台を使ったまちづくりプロジェクトを実施。学生が製作した移動式の「ほどわごん」を用いて地域のイベント等に参加したり、地域への貸出を実施	常盤台地区連合町内会、ゆたかなイばし運営委員会ほか	通年	平成25年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
187	横浜国立大学	地域課題実習「和田べんプロジェクト」	地域の活性化を目的に、和田町商店街の商店が作るお弁当を学内で販売したり、和田町タウンマネジメント協議会への出席、フリーマーケットへの出店、ホームページ制作、オリジナル商品企画、ゆるキャラの作成等、多岐にわたる活動を実施	和田町商店街、和田町町内会、和田町西町内会ほか	通年	平成19年度
188	横浜国立大学	地域課題実習「市民活動を体験して考える協働型まちづくりPJ」	NPOがどのような活動を行い、社会に影響を与えているか、今後のNPOの在り方について学習するために、NPOインターンシップ事業に学生が参加	NPO法人アクションポート横浜ほか	通年	平成20年度
189	横浜国立大学	地域課題実習「ワダヨコプロジェクト」	和田町の拠点を利用した継続的な取組やイベントを通じて、学生が町の人々と交流を持ち、お互いを良く知ることを目的として、寺子屋活動やイベントの企画など地域活動を実施	和田町タウンマネジメント協議会	通年	平成22年度
190	横浜国立大学	地域課題実習「アグリッジプロジェクト」	農業による地域活性化の実践を行うプロジェクト。大学周辺の農家の協力を得て野菜を栽培し、地域で直売を実施。また、地元企業と連携して地域の魅力が詰まった商品を開発し、羽沢横浜国大駅開業イベントや緑園街マルシェ等へ出店	常盤台コミュニティハウス、常盤台地区連合町内会ほか	通年	平成29年度
191	横浜国立大学	UR連携事業	UR都市機構との包括連携協定を踏まえて、洋光台をパイロットモデル対象として位置づけ、持続性のある集合住宅のモデルについて検討	(独)都市再生機構	通年	平成28年度
192	横浜国立大学	地域課題実習「ニュー・ニュータウン プロジェクト」	オールドタウン化しつつある郊外のベッドタウンを、豊かなニュータウンに再編することを目標に、まちづくり拠点「みなまきラボ」と協働し、商店街の活性化を目指したイベント等を実施	みなまきラボ運営委員会、万騎が原中央商店街ほか	通年	令和元年度
193	横浜商科大学	商店街振興事業	野毛の街おこしイベントの企画・運営への協力	野毛商店街	通年	平成16年度
194	横浜商科大学	商店街振興事業	大口通商店街の街づくり事業への協力。イベントの企画支援、共同運営	大口通商店街	通年	平成17年度
195	横浜商科大学	生麦中学校ブロック罹災者支援ネットワーク	災害時の連携・協力、地域避難者の支援、児童生徒の安全確保等	岸谷、生麦、寺尾の3小学校と生麦中学校、法政女子高等学校	通年	平成23年度
196	横浜商科大学	商大キャンパスバザール	大学キャンパスを開放しての朝市の実施	商大キャンパスバザール事務局、鶴見区役所	通年	平成25年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
197	横浜商科大学	課題解決型学習:鶴見ビジネス課題チャレンジ	市内企業等からそれぞれの抱える経営課題を取り上げ、学生チームが解決策を提案し研究レポートとして提示	横浜FCなど	令和元年9月～令和2年1月	平成28年度
198	横浜商科大学	地域連携事業	協定を締結している近隣の飯山幼稚園への一時避難場所の提供、及び避難訓練の受入れ	飯山幼稚園	令和元年6月	平成28年度
199	横浜商科大学	地域連携事業	小学生の職業体験としての見学対応	寺尾小学校	令和元年7月	平成28年度
200	横浜商科大学	スポーツ関連産業人材育成における連携に関する協定に基づく連携事業	経営学のゼミで横浜FCサポーター増加を目指す企画や展示を実施	横浜FC	通年	平成30年度
201	横浜女子短期大学	港南台駅前ウインターイルミネーション点灯式	港南台ひかりの街づくり主催で本学学生が演奏のため参加	港南台ひかりの街づくり実行委員会	令和元年11月	平成6年度
202	横浜女子短期大学	保育まつり	授業「教養演習ゼミ」の一環で、学生が手づくりのゲームやクリスマスにちなんだ楽器演奏など、地域の子どもたち、保護者の皆様と一緒に楽しむクリスマス会	小学生までの子どもたちと保護者の皆様	令和元年12月	令和元年度
203	横浜市立大学	エクステンション講座 各種医療講座	市民向け医療講座の共同開催	(福)横浜市社会福祉協議会	令和元年6月～令和2年1月	令和元年度
204	横浜市立大学	エクステンション講座 各種教養講座	市民向け教養講座の共同開催	(株)アカサカテック、日之出産業(株)、(株)スリーハイ、岩井の胡麻油(株)	令和元年10月～令和2年2月	令和元年度
205	横浜市立大学	金沢シーサイドタウンにおける活性化等推進に係る連携協定	大学サテライト拠点を中心とした地域情報の共有・発信、地域拠点の活用、地域資源を活用した健康維持・増進	(独)都市再生機構 神奈川地域支社 (UR)	平成31年4月～令和2年3月	平成26年度
206	横浜市立大学	地域の活性化等に係る連携協定書	大学サテライト拠点を中心とした地域情報の共有・発信、地域拠点の活用、地域資源の活用、地域コミュニティの活性化	横浜市住宅供給公社	平成31年4月～令和2年3月	平成28年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
207	横浜市立大学	教員地域貢献活動支援事業(エリアマネジメント活動支援型)「自走型コミュニティ構築を目的とした地域マネジメント体制および拠点構築に関する実践研究」	金沢シーサイド地区における自律的かつ自走型によって持続するエリアマネジメント体制の構築を目指して、連携を実施	横浜市住宅供給公社、(株)安藤建設、石井造園(株)、(株)横浜シーサイドライン、京浜急行電鉄(株)、(株)横浜八景島、(株)三春情報センター、大和リース(株)、三井不動産(株)	平成31年4月～令和2年3月	平成30年度
208	横浜市立大学	教員地域貢献活動支援事業(協働型)	自治体・企業・NPO法人等の団体が抱える諸問題を地域課題として提案いただき、本学の教員及び課題提案者が協働で調査、研究、社会実験等の活動を通じて課題解決を目指して連携を実施。(連携期間は最大3年間)	京浜急行電鉄(株)、(株)横浜インポートマート、(福)若竹大寿会	平成31年4月～令和2年3月	平成29年度
209	横浜市立大学	寄附講座	横浜銀行グループによる「銀行講座」	(株)横浜銀行	平成31年4月～令和元年9月	平成18年度
210	横浜市立大学	寄附講座	産業事情～ファッション・ビジネス戦略 I	(財)ファッション産業人材育成機構	令和元年9月～令和2年3月	平成18年度
211	横浜市立大学	寄附講座	環境経営の最先端:グリーン購入が開く環境都市	横浜グリーン購入ネットワーク	令和元年9月～令和2年3月	平成26年度
212	横浜市立大学	総合講義	総合講義(連携特別講座「国際協力事業」)	JICA横浜	令和元年9月～令和2年3月	平成18年度
213	横浜市立大学	実践科目	福祉施設実習	地域の福祉施設	令和元年8月～9月	平成17年度
214	横浜市立大学	寄附講座	財務省・財務局・財務事務所(横浜)の業務と役割	関東財務局横浜財務事務所	令和元年9月～令和2年3月	平成24年度
215	横浜市立大学	アフリカ開発会議(TICAD7)の運営ボランティア	外務省よりパシフィック横浜で開催したアフリカ開発会議(TICAD7)へ、ボランティアとして本学学生100名が参加した	外務省	令和元年8月	令和元年度
216	横浜市立大学	ボランティアを通じた人材育成	世界銀行が主催したTICAD7開催記念特別写真展へ運営ボランティアの派遣 また本学のボランティア参加学生に対し、世界銀行の人事担当者との懇談会を実施した(キャリア形成実習(所管:キャリア支援担当)で上級広報担当官の講演会を実施)	世界銀行	令和元年7月、8月	令和元年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
217	横浜市立大学	ボランティア実践講座	初めてボランティアに参加する在学生向けに、座学・実践・振り返りの3 Step方式のボランティア講座を行った 学生には区内地域ケアプラザの福祉関係を中心としたボランティアに参加してもらい、継続的な活動に繋げることを目的とした事業	金沢区社会福祉協議会 金沢区地域ケアプラザ	平成31年4月～令和元年6月	平成28年度
218	横浜市立大学	東京2020大会に向けた創作紙芝居上演	金沢区を中心に活動する横浜紙芝居普及会の脚本に、本学美術部の学生が絵付けをした紙芝居を上演する活動(東京2020大会オリンピック・パラリンピック参画プログラムとして承認済) 令和元年度は4作目として、事実に基づいた脚本と絵付けをそれぞれ本学学生が制作をした	横浜紙芝居普及会	平成31年4月～令和2年3月	平成29年度
219	横浜市立大学	①世界トライアスロン横浜大会 ②シーサイドトライアスロン大会 ③トライアスロンセミナーでのボランティア活動	在学生が世界トライアスロンシリーズ横浜大会(一般)、横浜シーサイドトライアスロンの大会当日スタッフボランティアに参加 世界大会では、ビッグバンドJazzオーケストラ、吹奏楽部、医学部アカペラ部が演奏のパフォーマンスを披露 また本学のプールで実施されているトライアスロンセミナー2月の当日スタッフに、水泳部の部員が協力	世界トライアスロンシリーズ横浜大会 組織委員会事務局	①令和元年5月 ②令和元年9月 ③令和2年2月	平成28年度
220	横浜市立大学	ボランティアツアーによる市内のNPO法人へのボランティア活動	ボランティアを始めるきっかけ作りとして、ボランティア支援室学生スタッフVolunchのメンバーと在学生が、市内のNPO法人などが実施するボランティアに参加	①(公財)日本野鳥の会 横浜自然観察の森 ②YOKOHAMA BayDream ③ウイズランニング実行委員会 ④横濱キャンドルカフェサポーターズクラブ	①令和元年6月 ②令和元年10月 ③令和元年11月 ④令和元年12月	平成29年度
221	横浜市立大学	並木周辺の子どもたちへの医療教室	医学部ボランティアサークルYDCと金沢シーサイドライン地区の地域活性化の活動をしているあしたタウンプロジェクトが、並木ラボにて地域住民(主に子どもたち)を対象とした医療教室を実施(プロモーションには金沢シーサイドラインが協力)	あしたタウンプロジェクト	令和元年8月、12月、 令和2年3月(中止)	令和元年度
222	横浜市立大学	寺子屋塾	地域が子どもを育てることを目的に、西大道町内会と本学の部活「環境ボランティアStepUp↑」が協働して、地元小学生の夏休みの学習や遊びなどを通して交流した	西大道町内会	令和元年7月、8月	平成25年度
223	横浜市立大学	西大道地区 宵宮演芸会	地域のお祭りで、住民や小学生を対象としたパフォーマンスとして、ジャグリングサークル部が参加	西大道町内会	令和元年7月	平成28年度
224	横浜市立大学	国内インターンシップ (横浜商工会議所主催)	横浜商工会議所主催による、市内大学の学生を対象としたインターンシップ 横浜商工会議所の加盟団体・企業で学生がインターンシップに参加する	横浜商工会議所	令和元年8、9月	平成17年度
225	横浜市立大学	国内インターンシップ (横浜市国際交流協会主催)	横浜市国際交流協会(YOKE)主催による、市内5大学の学生を対象とした実務体験プログラム(正式名称:国際機関実務体験プログラム)	横浜市国際交流協会(YOKE)	令和元年8、9月	不明

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
226	横浜市立大学	国内インターンシップ (神奈川県経営者協会主催)	神奈川県経営者協会主催による、留学生のためのインターンシップ(神奈川県経営者協会が会員企業・大学へ内容を周知し、本学留学生が県内・市内企業でインターンシップを行う)	神奈川県経営者協会	令和元年8、9月	平成28年度
227	横浜市立大学	海外インターンシップ	公益財団法人横浜企業経営支援財団(IDEC)による、市大生を対象とした海外インターンシップ	(公財)横浜企業経営支援財団(IDEC)	令和元年9月	令和元年度
228	横浜市立大学	学内合同企業説明会	神奈川ニュービジネス協議会による、留学生就職促進プログラムに関連した、神奈川県内大学生を対象とした学内合同企業説明会	神奈川ニュービジネス協議会	令和元年6月	令和元年度
229	横浜市立大学	合同クリアップ活動	金沢区福浦3丁目付近の日産自動車株式会社、東洋電機製造株式会社、消防局横浜ヘリポート航空科、神奈川県警察航空隊、横浜市立大学が合同でボランティアを集い、年に一度、海の遊歩道周辺のゴミ回収、分別を実施しています。当日は横浜市金沢区役所地域振興課、資源循環局の協力を頂いて回収した廃棄物の運搬処分をお願いします	日産自動車(株)、東洋電機製造(株)、横浜市消防局、神奈川県警察、金沢区役所地域振興課、横浜市資源循環局	令和元年12月	平成27年度
230	横浜市立大学	心臓リハビリテーションのIoTデバイス開発	心臓リハビリテーションの維持期における行動変容を促進するためにIoTデバイスを独自に開発(現在開発作業中)	NTT	平成31年4月～令和2年3月	令和元年度
231	横浜市立大学	金沢区地域薬事連携協議会	金沢区域内7病院と金沢区薬剤師会で協議会を発足し、薬事関連の業務検討を行っている。定例会議(年4回)のほか、薬学実習生を対象とした講習会(年3回)、地域薬剤師を対象とした薬学研修会(年2回)を開催している	金沢区薬剤師会 金沢病院、金沢文庫病院、並木リハビリテーション病院、神奈川県循環器呼吸器病センター、済生会若草病院、横浜南共済病院	令和元年5月～令和2年2月	平成22年度
232	横浜市立大学	公立大学法人横浜市立大学における治験等の取組についての説明会	第1部で附属2病院における治験推進への取り組みについて講演を行い、第2部で製薬企業と医師等との個別相談会及び横浜臨床研究ネットワーク協定病院による展示会を開催する 以上の取り組みにより、新規治験の受託を促進する	製薬企業、医療機器製造企業、横浜臨床研究ネットワーク協定病院等	令和元年11月	平成29年度
233	横浜市立大学	横浜市立つつじが丘小学校においてコミュニケーションロボットを活用したプログラミング教室	横浜市立つつじが丘小学校において、コミュニケーションロボット「Sota®」を活用したプログラミング体験教室(体験型ワークショップ)を実施 https://www.ntt-east.co.jp/kanagawa/information/detail/20200205_1.html	NTT東日本(神奈川事業部 地域ICT化推進部)	令和2年2月	令和元年度
234	横浜市立大学	上海スタートアップエコシステム調査	IDEC上海事務所の協力で、上海のスタートアップ関連各所への調査訪問。調査結果を10月のアジアスマートシティ会議にて報告(学生による)	IDEC	令和元年8月～10月	令和元年度
235	横浜市立大学	こどもホスピス設立に向けた活動	設立のためのニーズ調査の実施 世界こどもホスピスフォーラム ボランティア参加	NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト	平成31年4月～令和2年3月	平成30年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
236	横浜市立大学	大学講義への参加	看護学科小児看護学講義での講話	横浜重心グループ連絡会～ばざぼネット～	令和元年5月	平成26年度
237	横浜市立大学	連絡会の連携支援	生活支援・医療情報等の連携のサポート	横浜重心グループ連絡会～ばざぼネット～	平成31年4月～令和2年3月	平成26年度
238	横浜市立大学	住民グループにおける健康づくり・地域づくり活動の評価	金沢区の高齢者住民グループが実施する健康づくり・地域づくり活動において、区内の他大学や医療機関等と協働にて実施している健康づくり活動は継続的な健康指標の評価に向け、指標の検討、測定、結果のフィードバックを実施 地域づくり活動は、地域の見守り等における課題解決に向けたグループディスカッションにより、今後の方策を検討	シニアネットワークPro “在宅医療・ひとり暮らし・旅立ち”を考える区民懇談会	平成31年4月～令和2年3月	平成30年度
239	横浜市立大学	UR都市整備機構地域医療福祉拠点化 U-Youカフェ 健康講座	地域医療福祉拠点化に伴い、当該地域の高齢者のニーズを把握するために、インタビュー調査を実施し結果をまとめ対象者らにフィードバックを行った 地域医療福祉拠点のカフェ開催の際に、そのニーズに応じた高齢者の介護予防・健康増進をテーマに年に1回健康講座を実施している	UR都市整備機構	令和元年6月	平成29年度
240	横浜市立大学	肺年齢・健康測定会	連携先における地域美化活動日にあわせ、肺年齢・健康測定会を協働開催し、電子式スパイロメータによる肺機能測定、身長・体重・握力・心理的ストレス等の測定を行い、被験者自身の健康状態を把握してもらい、健康及び禁煙の動機づけを図り、健康増進により企業活動の促進、地域（産業団地）の健康意識向上に貢献する	IHI検査計測(株)	令和元年6月	令和元年度
241	横浜市立大学	「一人暮らし及び夫婦のみ高齢者世帯の社会的孤立予防にむけた仕組みの開発」事業	都市団地型小規模コミュニティ(横浜市金沢区シーサイド地区)における、一人暮らし及び夫婦のみ高齢者世帯等の社会的孤立予防にむけた仕組みとして、誰もが気軽に立ち寄り、交流することができるモデルプログラム「ふらっとスペースなみき」を開発し、定性的かつ定量的に評価する	横浜市富岡東地域ケアプラザ	平成31年4月～令和2年3月	平成29年度
242	横浜市立大学	2020年 新成人意識調査	2020年1月13日(祝)に横浜アリーナで開催された「横浜市成人式2020」に合わせて実施された、横浜市新成人意識調査「教えて！オトナ1年生のキモチ」において、調査内容(質問項目の内容等)の検討を実施 新成人が成長過程で得た知識や情報で形成してきた価値観等を抽出し、現代の空気感と過去10年余の社会側面を考察することが目的	(株)横浜メディアアド	令和2年1月	令和元年度
243	横浜市立大学	学校と医療の連携	学校現場と医療の連携を深める 顔の見える関係性づくり、生から死までの教育を医学的見地から伝えていく がん教育、性教育、命の授業などに関して講演や研修会などを実施	横浜市教育委員会事務局	令和元年10月～令和2年2月	令和元年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度実施年月	連携取組開始年度
244	横浜市立大学	国際スポーツイベントにおける子ども達の観戦行動と心理的変化の測定調査ーラグビーワールドカップ2019TM日本大会ー	神奈川県・横浜市が実施したラグビーワールドカップの子ども招待事業に対して研究支援を行い、招待された子ども達に2回のアンケートを実施 行政が行う国際スポーツイベント開催の効果測定を行うことを目的とし、子ども達のスポーツ振興およびグローバルな視野・思考につながる社会的効果の測定 社会的効果(スポーツ振興、国際交流、復興支援の視点)を、観戦行動を通じた心理的態から把握するために、子ども達を被験者とした質問紙による調査(アンケート)を実施	市民局スポーツ統括室ラグビーワールドカップ2019推進部ラグビーワールドカップ2019推進課	令和元年9～10月実施 (令和2年2月、報告書提出)	令和元年度
245	横浜創英大学	専門性活かし育児支援「霧が丘ママFUNDAY」	霧が丘地域ケアプラザの親子教室「霧が丘ママFUNDAY」に本学教員が講師として専門知識を活かしたプログラム	霧が丘地域ケアプラザ	令和元年6月～令和2年3月	平成25年度
246	横浜創英大学	学生ボランティア参加の社会福祉協議会活動	霧が丘社会福祉協議会の「子育てサロン(親子のサロン)」「高齢者の交流サロン」「ひまわり教室(中途障害者のリハビリ教室)」に学生がボランティアとして受け入れてもらい活動	霧が丘地区社会福祉協議会	令和元年5月～令和2年3月	平成29年度
247	横浜創英大学	霧が丘インターナショナルコミュニティの活動参加	横浜創英大学IACサークルが、「学生による多文化共生イベント活動」として、霧が丘インターナショナルコミュニティの活動に参加した	霧が丘インターナショナルコミュニティ	平成31年4月～令和2年3月	平成30年度
248	横浜創英大学	保育の質の向上および地域貢献の推進にかかわる連携協定	質の高い保育者の育成とそのための教育環境づくり、子育て、子どもの発達支援を中心とした地域貢献など 【主な取り組み項目】 ①本学の教員による出前講義 ②本学の学生向けの講義(授業協力) ③保育所見学	(福)山百合会	令和元年6月～令和2年2月	平成30年度
249	横浜創英大学	横浜創英大学と横浜市緑区との連携・協力に関する基本協定(地域連携協定)	大学図書館の開放 (緑区内の保育園及び幼稚園に勤務する保育士及び幼稚園教諭)	横浜市緑区	令和元年6月～令和2年2月	平成26年度
250	横浜美術大学	自治体との連携事業	第4回青葉美術公募展への運営、実施への協力 実行委員、審査員に3名の教員が協力	青葉区地域振興課	平成31年4月～令和元年12月	平成28年度
251	横浜美術大学	地元商業店舗のイベントへの参加	ワークショップ「Pom Pomポコスのフラワーポット」を出展	(株)東急モルズデベロップメント	平成31年4月	平成31年度
252	横浜美術大学	開発商品販売に向けた付属用品等のアイデア及びデザイン提供	株式会社ICONが開発した学習ロボットの販売に向けた、商品周辺グッズ等のデザイン、制作等	(株)ICON	～令和元年12月	平成30年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
253	横浜美術大学	病院のイメージアップのためのデザイン制作	清水ヶ丘病院のロゴマークのデザインを制作。看板、名刺、封筒等に展開。	(公財)明徳会清水ヶ丘病院	～令和元年5月	平成30年度
254	横浜美術大学	区内の夏祭りを盛り上げるためのデザイン制作	青葉区内の各町内会で開催される夏祭り用のうちわのデザイン制作	青葉ふるさと協議会 青葉区地域振興課	令和元年5月	平成30年度
255	横浜美術大学	グランダ25ホーム入居者による作品展での講評	株式会社ベネッセスタイルケアが運営する25箇所老人ホーム入居者による作品展での講評	(株)ベネッセスタイルケア	令和元年6月、10月	平成30年度
256	横浜美術大学	学生作品巡回展	近隣の4か所の老人ホームにおいて、学生作品の巡回展を実施	メディカルホームくらら青葉台・グランケアあざみ野・青葉ヒルズ・創生園青葉	令和元年12月～	平成30年度
257	横浜美術大学	消防署との連携によるイベントでのワークショップ実施	横浜市教育委員会主催「子どもアドベンチャー2019」開催にあたり青葉消防署が出演するプログラム「集まれ、青葉子ども消防隊」でのワークショップの実施	横浜市青葉消防署	令和元年8月	令和元年度
258	横浜美術大学	イベントにおける講座の実施	第22回大学で学ぼう～生涯学習フェアへの講座提供	かながわ県生涯学習協議会	令和元年9月	平成10年度
259	横浜美術大学	絵本の読み聞かせ	学生が制作した絵本の読み聞かせを実施	青葉区区政推進課 横浜市立奈良保育園	令和元年11月	平成30年度
260	横浜美術大学	図画コンクールの審査	第20回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクールにおける作品審査、選考	第三管区海上保安本部	令和元年9月	平成30年度
261	横浜美術大学	双方主催のイベントにおいて連携協力	本学主催「子どもアトリエ村」での講座委託 黄金町バザールへの参加	黄金町エリアマネジメントセンター	平成31年4月、令和元年11月	平成19年度
262	横浜美術大学	顔出しパネル制作	地域の「花まつり」に向けて、顔出しパネルを制作	宗教法人盛園寺	令和2年1月	令和元年度
263	横浜美術大学	ポスターの審査	近隣小学校、中学校生徒の交通安全ポスター標語ポスターの審査	恩田連合自治会	令和2年1月	平成30年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
264	横浜美術大学	看板制作	交通安全標語看板のイラスト制作	青葉警察署 青葉交通安全協会	令和2年2月	平成23年度
265	横浜美術大学	校章デザイン制作	神奈川県立あおば支援学校新設に伴い、校章のデザインを制作	神奈川県立あおば支援学校	令和2年2月	令和元年度
266	横浜美術大学	仮囲いアート制作	工事仮囲いに1年生児童の絵をレイアウトしたデザインの制作	横浜市立山内小学校	令和2年1月～	令和元年度
267	横浜薬科大学	ざよこはまパレードへの参加	学生ダンスサークルによる仮装パレードへの参加	国際仮装行列実行委員会	令和元年5月	平成29年度
268	横浜薬科大学	横浜セントラルタウンフェスティバルへの参加	教職員によるモバイルファーマシー(災害対策医薬品供給車両)の展示	横浜セントラルタウンフェスティバル実行委員会	令和元年5月	令和元年度
269	横浜薬科大学	薬物乱用防止キャンペーンへの協力	教職員及び学生による ①街頭キャンペーン(啓蒙活動) ②学生ダンス(啓蒙活動)	横浜市薬剤師会	令和元年7月、9月	平成24年度
270	横浜薬科大学	戸塚ふれあい区民文化祭	協賛	戸塚区地域振興課	令和元年10月	平成22年度
271	横浜薬科大学	戸塚ふれあい区民まつり	協賛	戸塚区地域振興課	令和元年11月	平成22年度
272	横浜薬科大学	歩こう会	教職員及び学生による地域住民とのウォーキング活動を通じ、健康の維持・増進、相互の親睦及び大学運営の理解促進	NPO法人ドリームの丘 (公財)緑の協会	毎月1回(8月を除く。)	平成21年度
273	横浜薬科大学	協働農園(ハマヤク農園)での薬草栽培	本学に隣接する深谷町ふれあい公園(愛称「ハマヤク農園」)内の協働農園エリアにおいて、薬科大学のノウハウを活かした市民参加型のハーブ園を企画し、教職員・学生と地域住民の協同による薬草栽培を通じて親睦を深め、緑の多い街づくりに取り組む	横浜市環境創造局 公園緑地部 公園緑地管理課	通年	平成28年度
274	横浜薬科大学	大正連合フェスタへの協力	職員による飲料、お菓子の無料配布	大正連合地区自治会	令和元年6月	平成27年度

◎令和元年度 市内地域団体・企業等との連携取組事例

番号	大学名	連携取組名	具体的な連携取組の内容	連携先	令和元年度 実施年月	連携取組開始 年度
275	横浜薬科大学	県ドリームハイツ夏祭りへの協力	教職員及び学生による神輿の担ぎ手	県ドリームハイツ自治会	令和元年7月	平成25年度
276	横浜薬科大学	アークプラザ戸塚子ども祭りへの協力	職員による風船の無料配布	アークプラザ自治会	令和元年8月	平成27年度
277	横浜薬科大学	俣野町納涼祭への協力	職員による風船の無料配布	俣野町内会自治会	令和元年8月	平成27年度
278	横浜薬科大学	ドリームフェスタへの協力	学生による音楽演奏	県ドリームハイツ自治会	令和元年11月	平成27年度
279	横浜薬科大学	俣野町内餅つき大会への協力	教職員及び学生による餅つきの協力	俣野町内会自治会	令和元年12月	平成26年度
280	横浜薬科大学	介護老人保健施設「うらの里」クリスマス会への協力	教員及び学生による音楽演奏	介護老人保健施設「うらの里」	令和元年12月	平成29年度
281	横浜薬科大学	市民公開講座の実施	生涯学習として、教員による市民に対する医療・薬学関連知識の付与	横浜市健康福祉局 健康安全部 医療安全課	令和元年8月、12月	平成18年度
282	横浜薬科大学	健康ウォーキングラリーへの協力	職員によるモバイルファーマシー（災害対策医薬品供給車両）の展示	戸塚旭町通り商店会	令和元年10月	平成28年度
283	横浜薬科大学	リストガーデンノコトウの生涯学習の協力	生涯学習として、教員による市民に対する医療・薬学関連知識の付与	リストガーデンノコトウ管理組合	令和元年8月	令和元年度
284	横浜薬科大学	とつかリビングラボへの参加	令和元年4月から運営会議に毎月参加 令和元年10月の「とつか未来会議」に参加 （モバイルファーマシーの展示を含む）	とつかリビングラボ事務局 横浜市政策局共創推進課	運営会議 平成31年4月から毎月 「とつか未来会議」 令和元年10月	平成30年度